

山形市ウォーキングマップ

スタート ① 夜泣き地蔵

旧二〇街道に建てられた身の丈2.5mあまりの大きな地蔵様です。子供の夜泣きに困り、お参りすると治るといふ伝えのある、霊験あらたかなお地蔵様です。



② 雨乞大明神碑

1863年、日照りに困った民を救うため、泉福寺の住職が畑谷大沼近くのお堂に籠り、七日七晩雨乞いの祈禱をして人々を救ったのちに碑を建ててその徳を讃えました。



③ 霊亀山泉福寺

曹洞宗の寺院です。総本山は永平寺です。門前に立つ仁王様は見ごたえたっぷりです。



④ 太陽を迎える塔

東京都出身、幼年期を山形で過ごしたグラフィックデザイナー神長佐充の作品です。同デザイナーの作品として、コース上にもう一つ、「感嘆する石」や山形市役所敷地内「雷の休日」などがあります。



⑤ 山形市の友好姉妹都市図

全8ヶ所、国内2都市国外6都市の姉妹都市を紹介するパネルが遊歩道に沿って7か所設置されています。これを機に世界に目を向けてみましょう。



⑥ 三谷先生碑

村の子供たちに読み書きを教えていた三谷先生の徳をしのび、教え子たちの手で明治25年(1892年)に建てられた石碑です。



コース 距離: 約4,000m 時間: 約80分 カロリー: 約200Kcal 歩数: 約5,000歩

スポーツと歴史の町 落合を歩く



公式HP

ゴール ⑧ 八幡神社

かつては大地神、転じて「ずんずんさま」と呼ばれ親しまれていましたが、明治維新の神仏分離令により現在の八幡神社と改称されました。



⑦ 北河原上の地蔵様

1795年に建てられ、村の女性による講中(信仰者の集まり)が守り続けているお地蔵様です。マップ製作者が参拝した際にも、堂内は季節の花々で美しく飾られていました。



山形市の北東部に位置し国道13号線東側に広がる地域です。市街地から比較的近く、交通の便もよいことから住宅地として発展してきました。落合町を含む千蔵地区が誕生したのは明治時代とされ、多くの遺跡なども残されていますが、近年では総合スポーツセンターをはじめ、近くには商業施設や医療機関なども点在し暮らしやすい空間が広がっています。

